

農業を通じて障がい者の自立を推進

—医療・介護・福祉機能—

NPO法人 いのちのさと



「いのちのさと」のメンバー

NPO 法人いのちのさととは、障がい者が集まって作業を行う組織で、農業や食品製造・販売を通じて障がい者への支援を行っている。

平成4年に、本格的に事業展開を図るため農業部門を農事組合法人化し、その後、平成15年8月にNPO法人化、平成20年10月からは障がい者就労継続支援施設として支援を継続している。



徳島県徳島市

〔医療・介護・福祉〕

いのちのさとでは、障がい者約40名が水稻、野菜、しいたけ栽培等の農作業や、リサイクル品回収、農家等からの委託作業に従事している。

自然や生きものに接する機会が多い農業は、障がい者の自立への近道と考えている。

〔地域社会の振興〕

昨今は地元農家や地元企業からの農産業を中心とした作業依頼が多く、利用者と共に収穫や調整、除草作業等を行うことで地域との繋がりを深めている。

〔体験学習と教育〕

農園塾やさまざまなイベントを開催し、JAや学校、農家等の地域住民との交流を図り、施設の活動への理解を深めている。



おまかせパック
(野菜のネット販売)



しいたけの栽培状況



農産物集荷所「美味しさ市」



ナシの生産状況



福祉展への出展

※写真の無断転用を禁止します。